

全 泓奎 (大阪公立大学)

採択された科研費テーマ「東アジア型社会開発モデルの構築に関する国際比較研究」

採択期間 2020年10月～2026年3月

渡航先(国・機関) 韓国(Sejong University)、台湾(National Taiwan University)、香港(City University of Hong Kong)

<報告要旨>

本研究は、生産主義的福祉国家として取り上げられることが多い、4つの東アジアの国や地域における貧困地域を比較研究の対象とし、各国の若手研究者間の交流を含む共同研究の実施を通して、当該地域問題の解決に向けた「実践モデル」の構築と「都市間交流のプラットフォーム」を形成することを目的にしている。

とりわけ本研究では、東アジアの都市という国際比較的な視点から、貧困(社会的条件不利)地域への社会的不利の集中を焦点化し、問題の解決に向けた国際共同研究からなるアクション・リサーチを行う。そして、各都市において実践されてきた社会開発実践にかかわるプログラムや関連政策について、実証的な調査研究から得た知見を総和することによって「東アジア型社会開発モデル」を提言する。なお、本共同研究を実施することによって期待される大きな成果は、東アジアの諸都市が交流し、各地域が抱える問題が個別課題に留まらず、一つの国際共同のプラットフォームの形成に導かれることである(下記のリンク参照)。そして同時に問題解決に向けた知見の共有を促す共同の回路の形成に資することが、本研究のもう一つの成果として期待される点である。

東アジア包摂都市ネットワーク・インクルーシブシティ研究会

<https://www.icn-japan.org/>

<https://ea-icn.site/>

※本報告にあたり、開示すべき COI 関係にある企業などはありません。